

五中一瑞陵創立百周年記念式典

平成 19 年 10 月 20 日(土) 御園座



愛知県立瑞陵高等学校

祝 辞

愛知県知事 神田 真 秋



愛知県立瑞陵高等学校が記念すべき創立100周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴校は明治40年、名古屋市の東南、当時の愛知郡呼続町瑞穂の地に、愛知県立第五中学校として輝かしい第一歩をしるされました。その後、戦後の学制改革による統合等の変遷を経て現在の愛知県立瑞陵高等学校となり、着実な教育実践のもとに国家・社会に貢献する人材の育成に努めてこられました。この間、我が国を代表する哲学者である谷川徹三氏、外交官として多くの人命を救った杉原千畝氏をはじめ、貴校の卒業生が国内外のさまざまな分野においてめざましい活躍を重ねてこられましたことは、本県にとっても大いに誇りとするところであります。

この歴史と伝統に輝く貴校の栄えある姿は、ひとえに歴代の校長並びに教職員の皆様の高い見識に基づいたご指導と、同窓会の皆様、保護者の皆様の温かいご支援、そして、生徒の皆さんのたゆまぬ努力のたまものであると存じ、深く敬意を表する次第であります。

今日の我が国は世界の中で重要な地位を占めており、国際社会のリーダーとしての役割を果たしていくことへの期待がますます高まっております。この期待に応えるためには、新しい時代を切り拓き、世界に視野を広げて活動することのできる心豊かでたくましい人材を育成することが肝要であります。その意味におきまして、貴校が、日本のよき伝統・文化を継承しつつ、広く国際感覚を身に付けた、次代を担う若人の育成を教育目標に掲げ、その実現に邁進しておられますことは、誠に頼もしい限りであります。

教職員及び生徒の皆さん並びに保護者の皆様には、この誇るべき伝統と校風をさらに輝かしいものとするために、心を合わせてご尽力くださるようお願いいたします。また、同窓会の皆様には、今後とも、生徒の励みとなり目標となつていただくとともに、一層のご支援をいただきますよう念願する次第です。貴校のさらなるご発展と関係の皆様方のご健勝を心からお祈りし、お祝いの言葉といたします。

記念式典

式次第

校歌メドレー 9：30

開式の辞

国歌斉唱

五中・瑞陵百周年事業委員会委員長式辞

校長式辞

来賓祝辞

来賓紹介・祝電披露

感謝状贈呈

生徒代表誓いの言葉

瑞陵高等学校校歌斉唱

閉式の辞

10：30

ポプラシート贈呈式

御来賓御芳名(敬称略)

愛知県教育委員会
衆議院議員
愛知県議会議員

〃
〃
〃

名古屋市議会議員

〃

愛知県公立高等学校長会
愛知県公立高等学校長会 家庭・看護部会
名南地区県立学校長会

委員

副会長
部会長
会長

愛知県立岡崎高等学校長
愛知県立安城高等学校長
愛知県立中村高等学校長
愛知県立惟信高等学校長
愛知県立松蔭高等学校長
愛知県立昭和高等学校長
愛知県立名古屋西高等学校長
愛知県立熱田高等学校長
愛知県立南陽高等学校長
愛知県立鳴海高等学校長
愛知県立天白高等学校長
愛知県立名古屋南高等学校長
愛知県立名南工業高等学校長
愛知県立中川商業高等学校長
愛知県立港養護学校長
名古屋市立陽明小学校長
名古屋学芸大学教授

会長

顧問
顧問
顧問
顧問
顧問

2005年日本国際博覧会事務総長
愛知県立明和高等学校長

瑞穂区小中学校校長会
学校評議員

廣瀬清市瑞陵高校奨学事業委員会

愛知県立瑞陵高等学校歴代校長

愛知県立瑞陵高等学校歴代PTA会長

第11代
第13代
第15代
第16代
平成9・10年度
平成16年度
平成18年度

池田 桂子
伴野 豊
川嶋 太郎
高木 ひろし
立松 誠信
伊藤 辰夫
藤田 和秀
林 孝則
石井 政一
近藤 泰雄
三宅 正夫
出井 博
加藤 安信
木村 久和
加藤 孔久
澁谷 有人
竹内 靖雄
水谷 孝義
寺澤 仁史
岡野 繁幸
鈴木 恒男
古田 誠
杉浦 隆久
伊藤 正治
加藤 純一
青木 一
後藤 好弘
中村 利雄
寺田 志郎
福岡 克彦
加藤 十八
杉田 英介
水谷 丈市
伊神 勝彦
前田 壽
青木 義彦
中北 眞紀子

感謝状贈呈御芳名(敬称略)

廣瀬清市瑞陵高校奨学事業委員会

瑞陵会
永年勤続校医

委員長
委員
会長
歯科医
薬剤師
眼科医

中神 靖
濱島 誠一郎
高木 修
佐伯 暁
鈴木 一雄
高田 正博

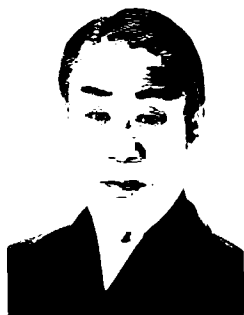
愛知県・名古屋市 後援

第十三回
三國志

世鬼顔



市川團十郎



澤村田之助



中村魁春



市川左團次



尾上菊五郎



尾上菊之助



市川海老蔵



尾上松緑

一、歌舞伎
十八番の内毛

十一時〜十二時五分

抜

幕間 十二時五分〜十二時三十分

二、色

彩

間

菊

豆

十二時三十分〜十三時二十五分

幕間 十三時二十五分〜十三時五十分

三、権

三

と

助

十

岡本綺堂作

伊藤恋朔 美術
中嶋八郎 美術

十三時五十分〜十五時十分

主な配役

【毛抜】

糸寺弾正松

秀太郎門之助

八剣玄蕃市蔵

泰民部龜三郎

小野春風龜

小野春道秀

腰元巻組萬次郎

【かさね】

かさね菊之助

与右衛門海老蔵

【権三と助十】

権三女房おかん 魁

左菅屋助太郎 團

助 八権十郎 蔵

小問物屋彦三郎 門

頼人坊主雲哲 市

頼人坊主頼哲 男

猿廻し与助 秀

石子伴作家 家

家主六郎兵衛 左

小問物屋彦兵衛 田

助 十菊五郎 助

小問物屋彦兵衛 田

助 十菊五郎 助

演目解説とみどころ

南山大学教授 安田 文吉

【毛 抜】

歌舞伎十八番の一つ。文屋豊秀の許嫁小野家の姫錦の前は、髪かみの毛が逆立つ奇病のため婚儀が進まず、実情解明のため豊秀家臣くめてらだんしゅう茶寺弾正が小野家を訪れます。目通りを待つ間に、鉄製の毛抜かみぬきが踊りだすのを見て、天井裏に磁石があると確信。姫の奇病の原因も姫の鉄製の簪かんざしと気づき、槍で天井を突き、磁石のからくりを暴き、小野家乗っ取りを企む悪人の根を絶ちます。小姓や腰元をからかうおおらかな人間像、悪を暴く巧みな弁舌、毛抜が立つ場で、次々に見せる豪快な見得、松緑の荒事の演技が見ものです。

【かさね】

祐天上人の霊験譚であるかさね伝説を扱った怪奇的な舞踊劇。与右衛門は深い仲の腰元かさねを捨てて逃げ出しますが、かさねは与右衛門に惚れているうえ、子まで宿しているのです。追いかけてきて、雨の木下川堤で追いつきます。しかし、そこへ流れてきた鎌の刺さったどくろ髑髏を、与右衛門が拾って、鎌を引き抜くと、かさねはたちまち醜女になってしまいます。与右衛門は、かつて、かさねの母菊と密通し、義父助を殺していたので、その因縁が祟ったのです。清元の名曲に乗って、かさねのすさまじい恨みと、典型的な色悪いろあく(美男の悪人)与右衛門の非道が、美しくもすごく演じられます。菊之助と海老蔵のコンビでお楽しみ下さい。

【権三と助十】

大正十五年初演の岡本綺堂の作品。大岡政談の一つ「小間物屋彦兵衛」の話ですが、名奉行は登場しません。江戸神田橋本町の裏長屋を舞台に、無実の罪で牢死した彦兵衛の倅せがれ彦三郎に同情して、犯人らしい男を見た権三と助十、家主六郎兵衛らが罪を晴らしてやろうと智恵を絞ります。夏の長屋の風物井戸替えを織り込みながら、喧嘩好きだが人情もろい江戸っ子たちが一喜一憂、大騒動しますが、結末は意外や、彦兵衛は牢死していなかった。総ては名奉行の真犯人を炙り出す策略。團十郎と菊五郎が初めての顔合わせで、権三と助十を演じます。

五中一瑞陵百年の歴史



創設仮校舎

明治44年 本館、講堂、寄宿舎一棟、倉庫二棟完成

明治45年 第1回卒業証書授与式挙行。卒業生66名

大正7年 理化学実験室完成

大正11年 生徒定員700名に増加
愛知県立第五中学校を愛知県立熱田中学校と改称(5.1)

大正12年 生徒定員1,000名に増加
寄宿舎廃止

大正14年 田代慎思郎校長に補せられる(9.30)

昭和2年 生徒定員1,250名に増加

昭和5年 普通教室増築完成

昭和9年 4年以上に第1種(就職)、第2種(進学)の課程を設ける

昭和12年 3月までの卒業生3,410名
高橋英治校長に補せられる



実務女学校校舎

明治40年 文部省、愛知県立第五中学校の設立を認可(1.22)

敷地を愛知郡呼続町大字瑞穂字山の畑および西藤塚に選定(1.25)

大塚末雄校長に補せられる(3.1)

仮校舎で入学式兼始業式(4.15)

明治41年 第八高等学校設置のため、敷地を同町大字瑞穂字神之内および高田に変更

明治42年 新敷地に教室二棟が完成、仮校舎から移転。生徒控所・屋内体操場・図画教室各一棟、寄宿舎二棟が完成

明治43年 理科博物教室、寄宿舎一棟、寄宿舎の食堂と炊事場が完成



第五中学校本館

昭和15年 熱田夜間中学を付設(一学年50人)
堀勝治郎校長に補せられる。愛知県実務女学校、3年制・1学年2学級(100人)で発足。加藤曾一郎校長に補せられる

昭和17年 中学4年制に学年短縮決まる(8.21)

昭和18年 鈴木貞一校長に補せられる

昭和19年 勤労働員で3年生、軍需工場へ(4.1)
1、2年生も勤労働員

昭和20年 実務女学校を愛知県女子商工学校と改称。空襲により校舎全焼(5.17)
授業再開(9.1)

昭和21年 中学校令改正で中学5年制に復活(2.22)

昭和23年 実務女学校、名南高校と改称。熱田中学は新制度により熱田高校となる。小川卓爾校長に補せられる

愛知県立高等学校設置条例第61号により愛知県立瑞陵高等学校設置される(10.1)
(愛知県立熱田高等学校、愛知県立愛知商業高等学校、愛知県立貿易商業高等学校、愛知県立名南高等学校の4校統合)

全日制課程(普、家、商)、定時制課程(普、商)を置く

愛知県立熱田高等学校、愛知県立愛知商業高等学校定時制統合。愛知県立瑞陵高等学校定時制と改称

各学年2学級編成(普通・商業課程1学級)

早川甚三校長に補せられる(10.1)

昭和24年 学区制、統合制、共学制の実施により、本校学区は瑞穂区山崎川以西および熱田区全部となる

昭和25年 芝村義邦校長に補せられる。定時制4学級(普通・商業課程2学級)となる。定時制ミルク給食開始

昭和27年 定時制5学級(普通課程3学級・商業課程2学級)となる。定時制隔日給食となる。家庭科教室竣工

昭和28年 本校の学区は、普通・家庭課程は瑞穂区山崎川以西および熱田区高蔵小学校区一部とし、商業課程は全市学区となる。定時制全日給食となる

昭和29年 商業課程、家庭技芸課程は全県学区となる

昭和31年 普通課程の学区は尾張一円となる。大量炊事室竣工

昭和32年 プール(6コース、25メートル)完成



木造校舎時代の全景

昭和39年 講堂兼体育館(瑞光館)竣工

旧講堂を改修、図書館として開館

昭和40年 普通科9学級となる

昭和41年 普通科8学級となる。運動場照明竣工

昭和42年 五中・瑞陵創立60周年記念式典挙行(名古屋市公会堂10.1)

昭和43年 鶴賀伊奈夫校長に補せられる。定時制普通科3学級となる



木造校舎時代の瑞陵高校正門

昭和33年 定時制普通課程2学級、商業課程3学級となる

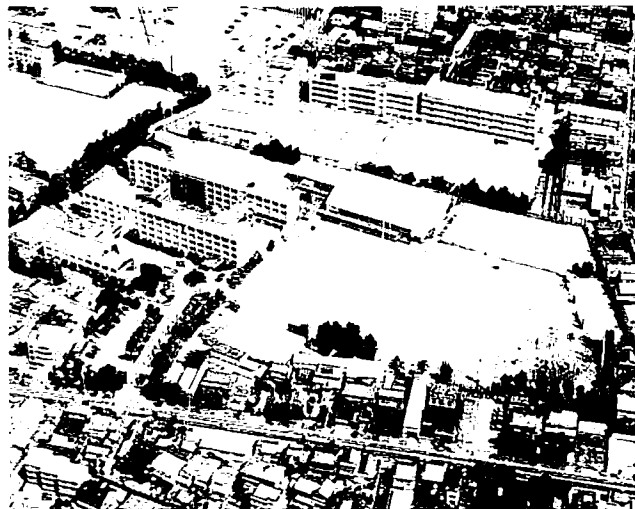
昭和34年 保健室竣工

昭和35年 商業課程1年の募集停止、普通課程1学年8学級、家庭課程2学級となる
寺嶋義彦校長に補せられる

昭和37年 石川軍二校長に補せられる
定時制普通課程4学級となる
旧愛商の校旗および卒業生の指導要録等を現愛商へ移管

昭和38年 第2調理室竣工。全日制普通課程を普通科と改称。10学級となる。家庭課程は食物科と改称

- 昭和44年 校長補佐複数制となる
- 昭和45年 鉄筋コンクリート造4階建普通教室棟16室完成
- 昭和46年 普通科7学級となる。山田貞彦校長に補せられる。普通教室8教室の増築工事竣工、1棟24教室となる
- 昭和47年 本館鉄筋4階建第1期工事竣工
- 昭和48年 本館鉄筋4階建第2期工事（美術、理科教室）竣工。本館-教室棟渡り廊下竣工
- 昭和49年 1年普通科9学級、食物科1学級となる。井村紹快校長に補せられる
普通科4教室増築竣工
鉄筋コンクリート造2階建家庭科教室竣工。ブロック造2階建クラブハウス、屋外便所竣工
本館-普通教室棟西渡り廊下竣工
- 昭和50年 テニスコート照明竣工
本館-家庭科教室棟渡り廊下竣工
- 昭和51年 家庭科棟3階に普通教室3室増築竣工
ブロック造クラブ室2階建2棟・各棟6室竣工。玄関前築山完成
斎藤久康校長に補せられる
- 昭和52年 正門完成
同窓会資料室（瑞陵会館）竣工
- 昭和54年 武道場（瑞心堂）竣工
旧講堂を定時制給食室（感喜堂）に改装竣工。後藤保民校長に補せられる。女子更衣室竣工
- 昭和56年 弓道場竣工。生沼好之校長に補せられる
- 昭和57年 1年普通科8学級となる
- 昭和58年 1年普通科9学級となる
- 昭和59年 加藤十八校長に補せられる
- 昭和60年 運動場改修完了
- 昭和61年 プール附属棟建設工事完了
- 昭和62年 白杵良次郎校長に補せられる。創立80周年記念式典挙行（名古屋市公会堂 9.19）
- 平成元年 複合選抜入試制度実施される。杉田英介校長に補せられる
- 平成2年 瑞陵会館改修完了
- 平成4年 学校5日制（毎月第2土曜日）実施される
- 平成6年 近藤謙二校長に補せられる。外壁改修工事完了



最近の瑞陵高校全景



現在の瑞陵高校正門

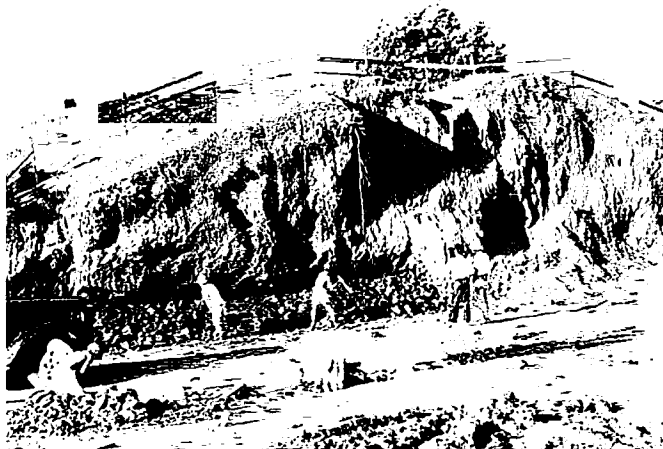
- 平成7年 学校5日制（毎月第2・第4土曜日）
実施される。瑞光館改修工事竣工
- 平成9年 プール改修工事竣工
創立90周年記念式典挙行（瑞光館10.18）
- 平成10年 水谷丈市校長に補せられる
- 平成15年 伊神勝彦校長に補せられる
- 平成17年 小田博一校長に補せられる
- 平成19年 コスモサイエンスコース開設される
創立100周年記念式典挙行（御園座
10.20）

五中山古墳（五中山）

愛知県立第五中学校の敷地内には、五中山古墳（高田古墳）と呼ばれる前方後円墳が存在した。五中の生徒にとっては、休み時間を過ごしたりする遊び場であった思い出深い場所であり、五中のシンボルでもあった。

その後、学制改革にともなう敷地移転によって、五中山は県立大学の敷地となり、昭和38年に県大の校舎建設のために削られ、現在は存在していない。

昭和30年に名古屋大学考古学研究室によって発掘調査が実施された。古墳の旧形全長87m、前方部幅56m、後円部径53m、高さ共に7m前後と推定され周塹があったという。後円部は盗掘されていたが丸く細長い木棺を白色粘土で包んだ粘土槨の一部約2mが残っていた。また、墳丘の頂部および中段には大小の土師質円筒埴輪があり、形状不明の形象埴輪の一部もあったという。埋葬された人物については不明であるが、5世紀中頃の築造という説がある。



五中山古墳発掘風景（早川章氏提供）

五中山古墳発掘風景（早川章氏提供）
られ、瑞陵高校の新しいシンボルとして生徒に親しまれている。五中山に比べてはるかに規模も小さいが、小さな山をもつ学校としての伝統が引き継がれていると言える。



五中山に集う最後の五中生

当時、発掘に携わった岩野見司氏（現荒木集成館館長）が一宮市博物館の初代館長として赴任したという縁で、出土した粘土槨の一部を輪切りにして硬化剤で固めたものが、一宮市博物館（一宮市大和町妙興寺2390、TEL.0586-46-3215、月曜日休館）の2階常設展示として展示されている。このことは、奥田二忠氏（五中31回、五中・瑞陵旧職員）はじめ諸兄の情報が寄せられる平成9年頃までは、あまり知られていなかったことである。

昭和62年（1987年）に行われた80周年記念事業では、この五中山を模した記念庭園が造



80周年記念庭園



瑞陵高校平成9年卒業アルバムより

卒業生の活躍

平井 太郎 五中1回

HIRAI Taro

推理作家・江戸川乱歩として活躍。明治27年三重県生まれ。五中在学中より英米の推理小説を愛読。早稲田大学政経学部卒業後、貿易会社、古本商、新聞記者など経験。大正12年に「二銭銅貨」を発表しデビュー。代表作／「怪人二十面相」、「少年探偵団」等。



谷川 徹三 五中2回

TANIGAWA Tetsuzo

哲学者。明治28年愛知県常滑市生まれ。五中、一高と進学後、西田幾太郎を慕い京都大学哲学科に入学。卒業後、同志社大学講師を経て、法政大学で教授、名誉教授、学長を歴任。哲学、文芸・美術評論と幅広い活動を続ける。詩人の谷川俊太郎は長男。著書／「平和の哲学」、「こころと形」など多数。

岡部 金治郎 五中2回

OKABE Kinjiro

物理学者。明治29年名古屋市生まれ。五中、名古屋高等工業学校（現名古屋工業大学）を経て、東北大学に入学。卒業後、同大学助教授となり、分割陽極マグネトロンを発明する。その後、名古屋高等工業学校教授、大阪大学教授を歴任し、学士院恩賜賞、文化勲章を受章。大阪大学を退官後、近畿大学教授となり、勲一等瑞宝賞を賜る。



(大正出版提供)

杉原 千畝 五中6回

SUGIHARA Chiune

外交官。明治33年岐阜県八百津町生まれ。五中、早稲田大学師範部、ハルピン学院と進学し、卒業後は外務省に入省。第二次大戦中、リトアニア領事としてナチスに迫害されるユダヤ人にビザを発給し、正義の人と讃えられる。昭和60年、イスラエルの最高勲章であるヤド・バシェム賞を受賞。平成4年、八百津町に「人道の丘」完成。

<廣瀬清市瑞陵高校奨学事業>

「廣瀬清市瑞陵高校奨学事業」とは、瑞陵高校のOBで57年間校医として勤務された廣瀬清市さんが、百周年事業に協賛して私財を奨学事業資金として提供されるものです。その事業の一環である「生徒海外派遣事業」では、第2回（平成18年7月23日～30日）と第5回（平成19年7月22日～29日）の2回にわたり杉原千畝のリトアニアでの足跡をたどりました。

第5回生徒海外派遣事業



リトアニア杉原記念館(旧領事館)執務室にて

都留 重人 五中19回

TSURU Shigeto

経済学者。明治45年東京生まれ。

ハーバード大学卒、同大で博士号(Ph.D.)取得。一橋大学名誉教授、元学長。朝日新聞社論説顧問、ハーバード大学客員教授等を歴任。公害の政治経済学を提唱し、雑誌「公害研究」創刊。日本学士院会員。日本人初の国際経済学連合会長。第1回経済白書「経済実相報告書」を執筆した。2006年没。

日比 英一 瑞陵4回

HIBI Eiichi

ニュースキャスター。昭和9年名古屋市生まれ。

瑞陵高校、名古屋大学文学部卒業。中部日本放送のアナウンサーとして、音楽、社会情報、報道等の番組を担当。昭和49年、全民法のローカルワイドニュース番組の先駆けとなった「CBCニュースワイド」のキャスターとして活躍。

中部日本放送報道局長兼論説委員長、常務取締役を経て、常任参与。

中村 利雄 瑞陵17回

NAKAMURA Toshio



2005年日本国際博覧会協会事務総長。昭和21年名古屋市生まれ。

瑞陵高校、名古屋大学法学部卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。会計課長、貿易局長、中小企業庁長官を歴任。

2002年9月に同協会副事務総長に就任し、2003年10月

から事務総長。「愛・地球博」に尽力した。

日本・東京商工会議所顧問。名古屋市顧問。名古屋大学参与。

今井 美希 瑞陵46回

IMAI Miki

陸上・走り高跳び選手。昭和50年名古屋市生まれ。

瑞陵高校、中京女子大学を経てミズノ(株)に所属。高校3年時にはインターハイ、国体の2冠に輝く。大学ではインカレ3連覇など、日本の女子走り高跳びをリード。1998年にはアジア選手権優勝、ワールドカップ5位と活躍。2000年のシドニーオリンピック日本代表となり、2001年、スーパー陸上で1m96cmを跳び、14年ぶりに日本記録を更新した。

西塚 泰美 瑞陵3回

NISHIZUKA Yasutomi

生化学者。昭和7年生まれ。

瑞陵高校、京都大学医学部卒業。ホルモン情報を伝達する仕組みに、細胞膜のリン脂質とプロテインキナーゼCという物質の働きがあるのを発見。細胞のガン化促進解明にヒントを与え、昭和61年に日本学士院賞、63年に米国スローン賞と文化勲章、平成元年にラスカー賞を受賞。

平成3年日本学士院会員。前神戸大学学長。

村木 征人 瑞陵16回

MURAKI Yukito

陸上・三段跳び選手。昭和20年生まれ。

瑞陵高校、東京教育大学体育学部卒業。1968年のメキシコオリンピックに出場するなど世界の一線で活躍した。また、選手のみならず陸上競技のコーチとして、日本記録保持者を含め一流のアスリートを数多く育成する。日本のスポーツコーチング界の第一人者として現在も活躍中。

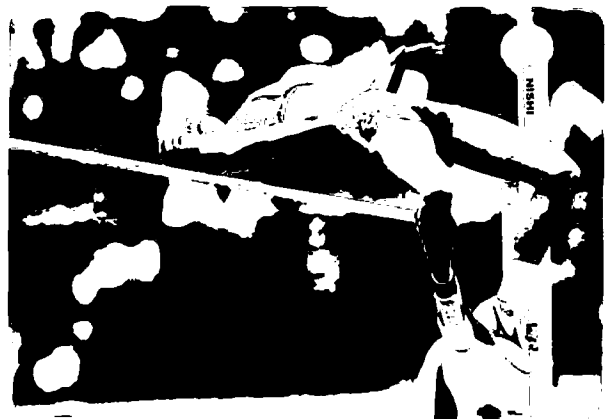
三段跳びの元日本記録保持者。現在筑波大学大学院教授。同大学陸上競技部部長。

河合 季信 瑞陵38回

KAWAI Toshinobu

スピードスケート選手。昭和42年名古屋市生まれ。

瑞陵高校、筑波大学体育学部、同大学院を経て、筑波大学に勤務。日本スケート連盟強化コーチ。7歳よりスピードスケートに親しみ、高校2年の時にショートトラックの世界選手権で総合優勝。その後、各大会で活躍し、平成4年のアルベールビルオリンピックでは銅メダルに輝いた。



部活動の歩み

硬式野球部 甲子園連続出場



昭和25年の瑞陵高校野球部



のちに中日ドラゴンズでも活躍したエース徳永喜久夫投手

昭和24年 愛知県大会で優勝し甲子園出場

昭和25年 春の選抜高校野球で甲子園出場、愛知県大会で優勝し甲子園出場
国民体育大会の硬式野球で優勝

全国大会出場記録

| | | | |
|-------|-------------------------------------|-------|-----------------------------------|
| 昭和29年 | 硬式野球 ハンドボール男子 バドミントン男子・女子 ラグビー | 昭和50年 | 水泳 (定)バスケットボール男子 |
| 昭和30年 | 体操男子 軟式野球男子・女子 ハンドボール男子 バドミントン男子 | 昭和51年 | (定)バスケットボール男子 |
| 昭和31年 | 体操男子 硬式野球 ハンドボール男子 バドミントン男子・女子 | 昭和52年 | 陸上 (定)バスケットボール男子 |
| 昭和32年 | 体操男子 バドミントン男子・女子 | 昭和53年 | (定)バスケットボール男子 |
| 昭和33年 | 体操男子・女子 バドミントン男子・女子 | 昭和59年 | (定)剣道 |
| 昭和34年 | 体操男子・女子 バドミントン男子・女子 | 昭和60年 | 軟式テニス (スピードスケート) (定)バスケットボール男子 |
| 昭和35年 | 体操男子 バドミントン男子・女子 軟式庭球男子 | 昭和61年 | 軟式テニス (スキー) |
| 昭和36年 | 体操男子 バドミントン男子・女子 | 昭和62年 | (定)陸上女子 (定)剣道 |
| 昭和37年 | バスケットボール男子 軟式庭球女子 陸上 | 昭和63年 | (定)陸上男子・女子 |
| 昭和38年 | 陸上 | 平成元年 | 水泳女子 (定)陸上男子・女子 (定)柔道男子 |
| 昭和39年 | バドミントン男子 陸上 ホッケー | 平成2年 | 水泳女子 (定)柔道男子 |
| 昭和41年 | バスケットボール男子 | 平成3年 | 水泳男子 陸上 |
| 昭和46年 | ホッケー 陸上 | 平成4年 | 陸上 |
| 昭和47年 | ホッケー | 平成6年 | 水泳 陸上 |
| 昭和48年 | (定)バスケットボール男子 | 平成7年 | 陸上 |
| 昭和49年 | (定)バスケットボール男子 | 平成8年 | 陸上 |
| | | 平成9年 | (定)陸上 |

過去10年間の部活動の主な記録

全日制の記録は「PTA会報」「瑞窓」より抜粋。(定)は定時制。

平成9年度 1997.4～1998.3

| | | |
|----------|----|-------------------------------|
| 卓球 | 女子 | 総合体育大会県大会出場 |
| バスケットボール | 女子 | 総合体育大会県大会出場 |
| バレーボール | 女子 | 東海選抜バレーボール選手権県大会出場 |
| テニス | 男子 | 総合体育大会県大会出場 新人体育大会県大会出場 |
| 弓道 | 女子 | 総合体育大会県大会出場(個人) |
| ハンドボール | 男子 | 選手権大会県大会出場 |
| 陸上 | | 総合体育大会東海大会出場 新人体育大会東海大会出場 |
| 水泳 | 女子 | 総合体育大会県大会出場 新人体育大会県大会出場 |
| (定)陸上 | | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場(男子800m 6位) |
| (定)軟式野球 | | 定時制通信制総合体育大会県大会出場(3位) |

平成10年度 1998.4～1999.3

| | | |
|-------------|----|--|
| テニス | 男子 | 総合体育大会県大会出場 |
| 弓道 | 男子 | 総合体育大会東海大会出場(団体3位) |
| | 女子 | 総合体育大会県大会出場 |
| ハンドボール | 男子 | 総合体育大会県大会出場 |
| 陸上 | | 総合体育大会全国大会出場(女子やり投・女子走高跳) 新人体育大会東海大会出場 |
| 水泳 | 男子 | 総合体育大会東海大会出場 |
| | 女子 | 総合体育大会東海大会出場 新人体育大会県大会出場 |
| 美術 | | 全国高等学校総合文化祭美術・工芸部門文化連盟賞受賞 |
| (定)陸上 | | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場(男子800m 4位) |
| (定)軟式野球 | | 定時制通信制総合体育大会県大会出場(準優勝) |
| (定)バスケットボール | 男子 | 定時制通信制秋季体育大会県大会出場(準優勝) |

平成11年度 1999.4～2000.3

| | | |
|-------|----|---|
| 柔道 | 男子 | 総合体育大会県大会出場 |
| | 女子 | 総合体育大会県大会出場 |
| 弓道 | 男子 | 新人体育大会県大会出場(団体) |
| | 女子 | 総合体育大会全国大会出場(個人) 国民体育大会出場(個人) 総合体育大会東海大会出場(団体) 新人体育大会県大会出場(団体4位) |
| 陸上 | | 総合体育大会東海大会出場 新人体育大会東海大会出場 全国ジュニアオリンピック出場(女子100mH) |
| 水泳 | 男子 | 総合体育大会県大会出場 |
| | 女子 | 総合体育大会東海大会出場 |
| (定)陸上 | | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場(男子800m 5位) |

平成12年度 2000.4～2001.3

| | | |
|-------------|----|------------------------------------|
| バドミントン | 女子 | 総合体育大会県大会出場 |
| バレーボール | 男子 | 総合体育大会県大会出場 |
| 弓道 | 男子 | 総合体育大会県大会出場(団体3位) |
| | 女子 | 総合体育大会東海大会出場(団体準優勝) |
| 陸上 | | 総合体育大会全国大会出場(女子100mH) 新人体育大会東海大会出場 |
| 水泳 | 男子 | 総合体育大会県大会出場 |
| | 女子 | 総合体育大会東海大会出場 |
| (定)陸上 | | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場(男子800m 6位) |
| (定)軟式野球 | | 定時制通信制総合体育大会県大会出場(準優勝) |
| (定)バスケットボール | 男子 | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場 |

平成13年度 2001.4～2002.3

| | | |
|-------------|----|--|
| バドミントン | 女子 | 総合体育大会県大会出場 |
| 卓球 | 男子 | 総合体育大会県大会出場 |
| 体操 | 男子 | 総合体育大会県大会出場(団体総合5位) |
| バスケットボール | 女子 | 総合体育大会県大会出場 選抜優勝大会県大会出場 新人体育大会県大会出場 |
| バレーボール | 男子 | 新人体育大会県大会出場 |
| 硬式野球 | | 全国野球選手権愛知大会ベスト16 |
| 柔道 | 男子 | 総合体育大会県大会出場 |
| | 女子 | 総合体育大会県大会出場 |
| 弓道 | 男子 | 総合体育大会県大会出場(団体・個人) 新人体育大会県大会出場(団体・個人) |
| | 女子 | 総合体育大会県大会出場(団体・個人) 新人体育大会県大会出場(団体・個人) |
| サッカー | | 総合体育大会県大会出場 |
| 陸上 | | 総合体育大会全国大会出場(男子400m・男子1600mR・女子400mH 2名) 国民体育大会出場(女子400mH) 新人体育大会東海大会出場 |
| 水泳 | 男子 | 総合体育大会東海大会出場(1500m自由形) |
| | 女子 | 新人体育大会県大会出場 |
| (定)陸上 | | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場(男子三段跳 7位) |
| (定)軟式野球 | | 定時制通信制総合体育大会県大会出場(優勝) |
| (定)バスケットボール | 男子 | 定時制通信制総合体育大会県大会出場(準優勝) |

平成14年度 2002.4~2003.3

| | | |
|-------------|----|--|
| バドミントン | 男子 | 新人体育大会県大会出場 |
| 卓球 | 男子 | 総合体育大会県大会出場 |
| 体操 | 男子 | 総合体育大会県大会出場(総合4位) |
| バスケットボール | 男子 | 総合体育大会県大会出場 |
| | 女子 | 総合体育大会県大会出場 |
| テニス | 男子 | 総合体育大会県大会出場 新人体育大会県大会出場 |
| 柔道 | 男子 | 総合体育大会県大会出場 |
| | 女子 | 総合体育大会県大会出場 |
| 剣道 | 女子 | 新人体育大会県大会出場 |
| 弓道 | 男子 | 新人体育大会県大会出場(個人) |
| | 女子 | 総合体育大会東海大会出場(個人) 総合体育大会県大会出場(団体) 新人体育大会県大会出場(団体・個人) |
| サッカー | | 総合体育大会県大会出場 |
| 陸上 | | 総合体育大会全国大会出場(女子3000mW) 新人体育大会東海大会出場 |
| 水泳 | 男子 | 総合体育大会東海大会出場(1500m自由形) |
| 美術 | | アートフェスタ・愛知県高等学校総合文化祭ポスター募集 俊秀 |
| (定)陸上 | | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場(男子走高跳・男子走幅跳) |
| (定)軟式野球 | | 定時制通信制総合体育大会県大会出場(準優勝) |
| (定)バスケットボール | 男子 | 定時制通信制総合体育大会県大会出場(準優勝) |
| | 女子 | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場 |

平成15年度 2003.4~2004.3

| | | |
|-------------|----|---|
| バドミントン | 女子 | 新人体育大会県大会出場 |
| 卓球 | 男子 | 総合体育大会県大会出場 |
| バスケットボール | 女子 | 新人体育大会県大会出場 |
| テニス | 男子 | 総合体育大会県大会出場 |
| 剣道 | 男子 | 新人体育大会県大会出場 |
| 弓道 | 女子 | 総合体育大会東海大会出場(個人) 総合体育大会県大会出場(団体) 新人体育大会県大会出場(団体) |
| | | 総合体育大会県大会出場 新人体育大会県大会出場 |
| 陸上 | | 総合体育大会全国大会出場(女子やり投2名) 新人体育大会東海大会出場 名岐駅伝出場 |
| 水泳 | 男子 | 総合体育大会東海大会出場(1500m自由形) |
| | 女子 | 総合体育大会東海大会出場(200m自由形・100m自由形・200m個人メドレー) |
| 囲碁将棋同好会 | 女子 | 選手権大会全国大会出場 高文連将棋新人大会全国大会出場 |
| (定)陸上 | | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場(男子走高跳・男子走幅跳) |
| (定)軟式野球 | | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場 |
| (定)バスケットボール | 男子 | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場 |
| | 女子 | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場 |
| (定)柔道 | 男子 | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場 |

平成16年度 2004.4~2005.3

| | | | |
|-------------|----|---|----------------|
| バドミントン | 男子 | 総合体育大会県大会出場 | |
| | 女子 | 総合体育大会県大会出場 新人体育大会県大会出場 | |
| 卓球 | 男子 | 総合体育大会県大会出場(団体ベスト8) 新人体育大会県大会出場(団体ベスト8) | |
| バスケットボール | 女子 | 総合体育大会県大会出場 選抜優勝大会県大会出場 | |
| テニス | 男子 | 総合体育大会県大会出場 | |
| | 女子 | 新人体育大会県大会出場 | |
| 剣道 | 男子 | 総合体育大会県大会出場 | |
| | 女子 | 総合体育大会県大会出場 新人体育大会県大会出場 | |
| 弓道 | 男子 | 総合体育大会県大会出場(団体) | |
| | 女子 | 総合体育大会県大会出場(団体・個人) | |
| ハンドボール | 女子 | 新人体育大会県大会出場 選手権大会県大会出場 | |
| 陸上 | | 総合体育大会全国大会出場(女子やり投・女子七種6位入賞) 国民体育大会出場(女子やり投6位入賞) 全国ジュニアオリンピック出場(男子棒高跳) 新人体育大会東海大会出場 名岐駅伝出場 | |
| | 水泳 | 男子 | 新人体育大会県大会出場 |
| | 女子 | 総合体育大会東海大会出場(200m個人メドレー) 新人体育大会県大会出場 | |
| | 棋道 | 男子 | 高文連将棋新人大会県大会出場 |
| (定)軟式野球 | | 選手権大会全国大会出場 | |
| | | 定時制通信制総合体育大会県大会出場(優勝) | |
| (定)バスケットボール | 男子 | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場 | |
| | 女子 | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場 | |

平成17年度 2005.4~2006.3

| | | | |
|-------------|----|------------------------------------|-----------------|
| バドミントン | 男子 | 総合体育大会県大会出場 | 新人体育大会県大会出場 |
| | 女子 | 総合体育大会県大会出場 | 新人体育大会県大会出場 |
| バスケットボール | 女子 | 総合体育大会県大会出場(団体ベスト8) | 新人体育大会県大会出場 |
| | | 総合体育大会県大会出場 | 選抜優勝大会県大会出場 |
| | | | 新人体育大会県大会出場 |
| テニス | 男子 | 総合体育大会県大会出場 | 新人体育大会県大会出場 |
| | 女子 | 総合体育大会県大会出場 | |
| 柔道 | 女子 | 総合体育大会県大会出場(個人3位) | |
| 剣道 | 女子 | 総合体育大会県大会出場 | 新人体育大会県大会出場 |
| 弓道 | 女子 | 総合体育大会東海大会出場(団体) | 総合体育大会県大会出場(個人) |
| 陸上 | | 総合体育大会全国大会出場(男子110mH) | 新人体育大会東海大会出場 |
| 水泳 | 男子 | 総合体育大会東海大会出場(100mバタフライ) | |
| | 女子 | 総合体育大会東海大会出場(200mバタフライ・200m個人メドレー) | |
| 棋道 | 男子 | 選手権大会県大会出場 | |
| | 女子 | 選手権大会全国大会出場 | |
| (定)軟式野球 | | 定時制通信制総合体育大会県大会出場(優勝) | |
| (定)バスケットボール | 男子 | 定時制通信制総合体育大会県大会出場(準優勝) | |
| | 女子 | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場 | |
| (定)柔道 | 男子 | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場 | |

平成18年度 2006.4~2007.3

| | | | |
|-------------|----|-----------------------------|-------------------|
| バドミントン | 男子 | 総合体育大会県大会出場 | 新人体育大会県大会出場 |
| | 女子 | 総合体育大会県大会出場 | 新人体育大会県大会出場 |
| バスケットボール | 女子 | 総合体育大会県大会出場 | 選抜優勝大会県大会出場 |
| | | | 新人体育大会県大会出場 |
| テニス | 男子 | 総合体育大会県大会出場 | |
| | 女子 | 総合体育大会県大会出場(団体) | 新人体育大会県大会出場(団体優勝) |
| ラグビー(7人制) | | 総合体育大会県大会出場(準優勝) | 新人体育大会県大会出場(3位) |
| ハンドボール | 女子 | 選手権大会県大会出場 | |
| 陸上 | | 総合体育大会東海大会出場 | 新人体育大会東海大会出場 |
| 水泳 | 男子 | 総合体育大会県大会出場 | 新人体育大会県大会出場 |
| | 女子 | 新人体育大会県大会出場 | |
| 棋道 | 男子 | 高文連将棋新人大会県大会出場 | |
| | 女子 | 高文連将棋新人大会全国大会出場 | |
| 吹奏楽 | | 吹奏楽コンクール県大会出場(銀賞) | |
| (定)陸上 | | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場(女子3000m) | |
| (定)バスケットボール | 女子 | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場(準優勝) | |
| (定)剣道 | 男子 | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場 | |
| (定)バドミントン | 女子 | 定時制通信制総合体育大会県大会出場(ダブルス準優勝) | |
| (定)サッカー | | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場(3位) | |

平成19年度 2007.4~

| | | | |
|-------------|----|--|--------------|
| バドミントン | 男子 | 総合体育大会県大会出場 | 新人体育大会県大会出場 |
| | 女子 | 総合体育大会県大会出場 | 新人体育大会県大会出場 |
| バレーボール | 男子 | 総合体育大会県大会出場 | |
| ラグビー(10人制) | | 総合体育大会県大会出場(準優勝) | |
| 陸上 | | 総合体育大会全国大会出場(女子400m 8位入賞・女子800m・男子110mH) | |
| | | 日本選手権出場(女子1600mR) | 新人体育大会東海大会出場 |
| 水泳 | 男子 | 総合体育大会県大会出場 | 新人体育大会県大会出場 |
| | 女子 | 総合体育大会県大会出場 | 新人体育大会県大会出場 |
| ソフトボール | | 総合体育大会県大会出場 | |
| 吹奏楽 | | 吹奏楽コンクール県大会出場 | |
| 棋道 | 女子 | 選手権大会県大会出場 | |
| (定)陸上 | | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場(男子400mH・男子5000m) | |
| (定)軟式野球 | | 定時制通信制総合体育大会県大会出場(優勝) | |
| (定)バスケットボール | 女子 | 定時制通信制総合体育大会県大会出場(準優勝) | |
| (定)剣道 | 男子 | 定時制通信制総合体育大会全国大会出場 | |
| (定)サッカー | | 定時制通信制総合体育大会県大会出場(準優勝) | |

平成18年度卒業生の進路状況 全日制

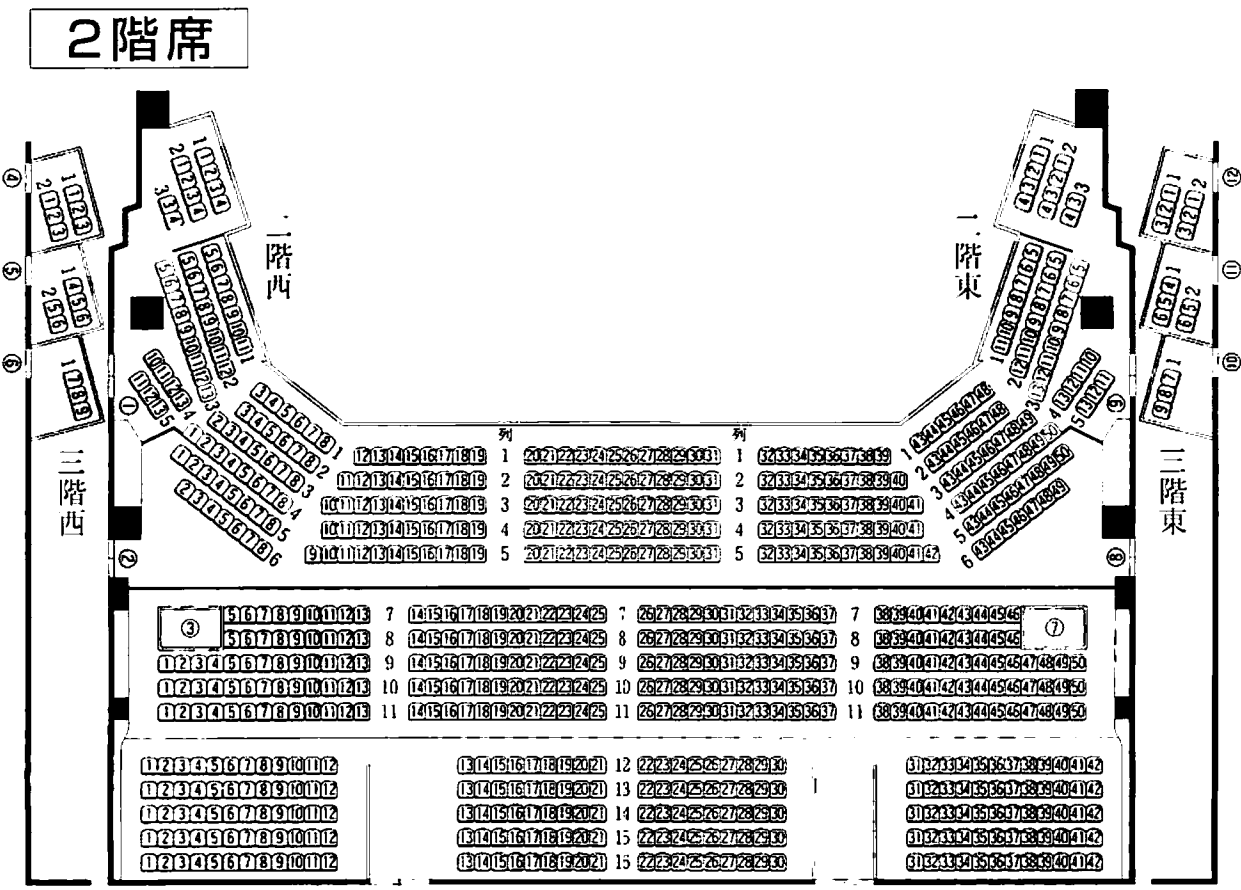
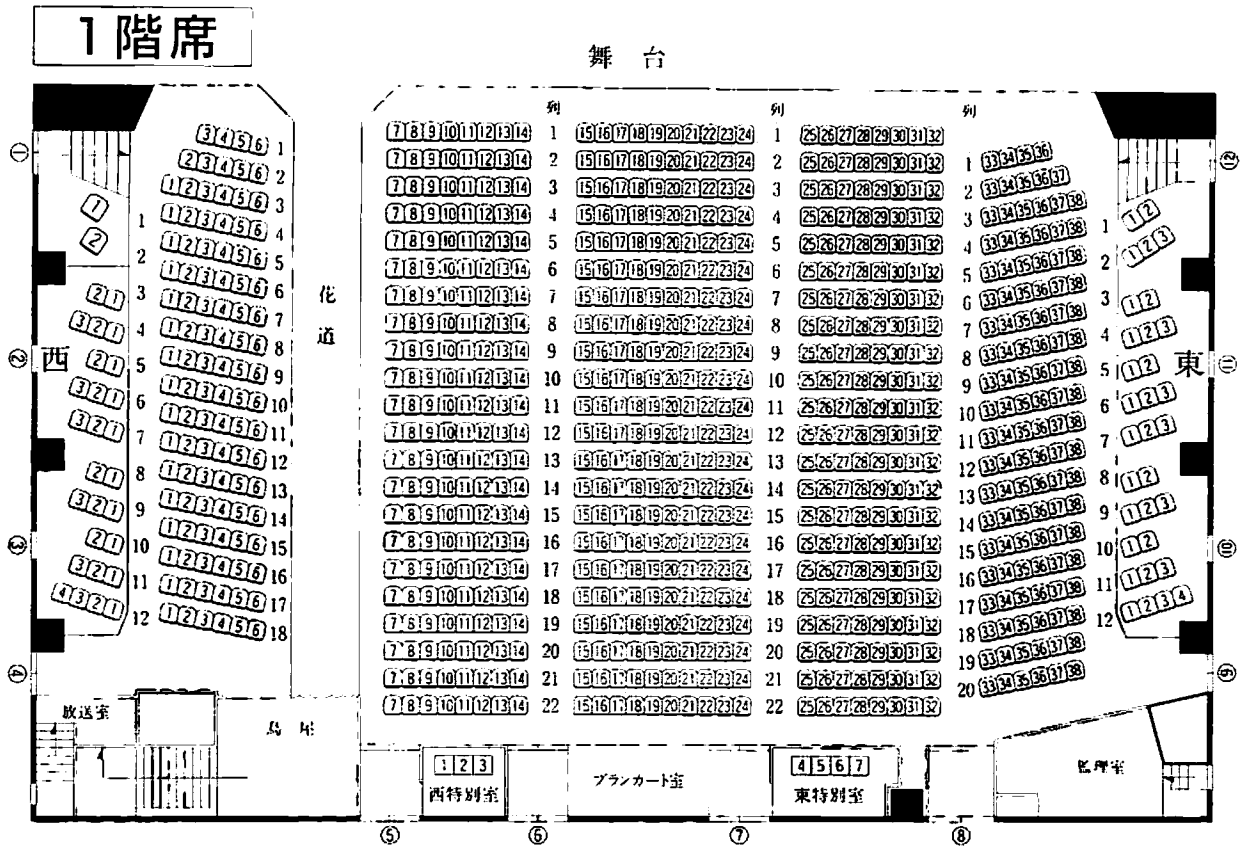
(大学等合格者のべ人数)

| 大学名 | 人数 | 大学名 | 人数 | 大学名 | 人数 |
|----------|----|---------|----|--------------|-----|
| 北海道大学 | 1 | 慶應義塾大学 | 3 | 名古屋音楽大学 | 1 |
| 筑波大学 | 1 | 順天堂大学 | 1 | 名古屋外国語大学 | 7 |
| 横浜国立大学 | 2 | 上智大学 | 2 | 名古屋女子大学 | 11 |
| 富山大学 | 1 | 専修大学 | 2 | 南山大学 | 68 |
| 金沢大学 | 2 | 創価大学 | 4 | 名城大学 | 99 |
| 信州大学 | 4 | 多摩美術大学 | 2 | 京都外国語大学 | 6 |
| 静岡大学 | 4 | 中央大学 | 4 | 同志社大学 | 12 |
| 愛知教育大学 | 15 | 東京女子大学 | 5 | 立命館大学 | 28 |
| 名古屋大学 | 9 | 東京農業大学 | 4 | 関西大学 | 65 |
| 名古屋工業大学 | 9 | 東京理科大学 | 3 | 近畿大学 | 5 |
| 岐阜大学 | 5 | 日本大学 | 2 | 関西学院大学 | 1 |
| 三重大学 | 11 | 法政大学 | 7 | 甲南大学 | 1 |
| 滋賀大学 | 2 | 武蔵工業大学 | 2 | 甲南女子大学 | 4 |
| 京都大学 | 1 | 明治大学 | 7 | 武庫川女子大学 | 2 |
| 岡山大学 | 1 | 立教大学 | 5 | 私立大学計 | 526 |
| 九州大学 | 1 | 早稲田大学 | 6 | 青山学院女子短期大学 | 1 |
| 首都大学東京 | 1 | 学習院女子大学 | 1 | 名古屋短期大学 | 5 |
| 愛知県立大学 | 7 | 愛知大学 | 19 | 藤田保健衛生短期大学 | 2 |
| 愛知県立看護大学 | 1 | 愛知学院大学 | 27 | 名古屋女子大学短大部 | 4 |
| 名古屋市立大学 | 15 | 愛知医科大学 | 1 | 南山短期大学 | 3 |
| 滋賀県立大学 | 1 | 愛知工業大学 | 2 | 私立短期大学計 | 18 |
| 国公立大学計 | 94 | 愛知淑徳大学 | 39 | 愛知県立総合看護専門学校 | 4 |
| 獨協大学 | 2 | 金城学院大学 | 21 | 専門学校計 | 33 |
| 青山学院大学 | 2 | 椋山女学園大学 | 13 | | |
| 学習院大学 | 1 | 中京大学 | 49 | 就職者計 | 5 |

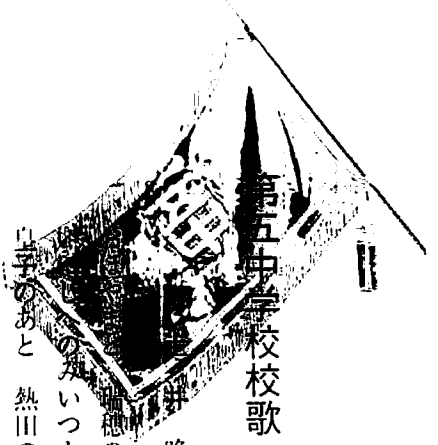
平成18年度卒業生の進路状況 定時制

| 進路先 | 人数 | 進路先 | 人数 |
|------------|----|---------------|----|
| 愛知学院大学 | 1 | 愛知みずほ大学短期大学部 | 1 |
| 中京大学 | 1 | 名古屋総合美容専門学校 | 1 |
| 東海学園大学 | 1 | 名古屋デザイナー学院 | 1 |
| 名古屋学院大学 | 1 | 名古屋文化学園保育専門学校 | 1 |
| 名古屋経済大学 | 1 | 進学者計 | 10 |
| 愛知文教女子短期大学 | 1 | 就職者計 | 14 |

式典会場案内図（御園座客席表）



第五中学校校歌



晚翠 作詞

瑞穂の国の
のまいつかしこき
皇宮のあと 熱田の社
そのかたへ育英の庭

二、わが愛知第五中学

里の名も同じ瑞穂の
みのるべくここに勉むる
紅顔の子弟幾百

三、身を鍛へ 心をみがく

青春の花のよろこび
文と武と 双の光の
輝かん後のほまれよ

四、白鳥の空とぶごとく

向上の道をおひゆく
神靈の つばさのかけり
何物かささへとどめん

五、ああ子弟 日目の歩みの

積りゆく 千里の遠き
わざならば 瑞穂の国の
そのいける瑞穂たれとぞ

実務女学校校歌

金子彦二郎 作詞

一、輝く二千六百年

弥生の月の吉日もて
文化開発進展の
任務を負ひて我校の
礎固く生ひ立てり

二、東駕東行の御砌

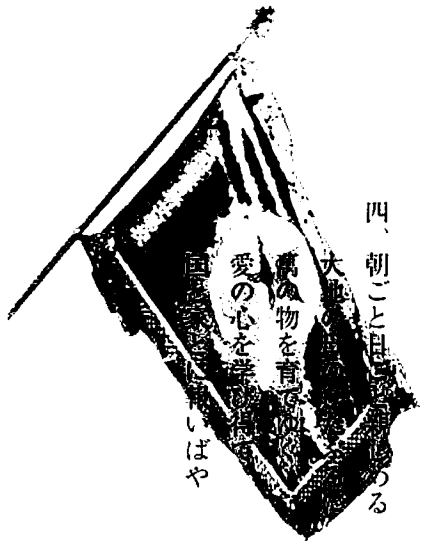
われらがおやのいそしみを
みそなはさんと畏くも
駐め給ひしみるまの
御趾ぞ今もかくはしき

三、熱田星宮笠寺の

しづもり給ふこの道場に
至誠明朗奉仕もて
心と身とを掬てつつ
皇国の道を究めなん

四、朝ごと日ごと

大いなる
愛の心を
いばや



瑞陵高等学校校歌

丸山 薫 作詞

一、日は昇る 瑞穂の丘に

朝雲の かがやき満てば
ポプラの葉 そよぎて若し
ああ 若し みどり 永久に
ここに映ゆ 学びの庭は

その名 瑞陵 われらが母校

二、窓ひらく 自由の風に

真青なる 未来をめざし
飛ぶ鳩の 虹あるつばさ
見よ つばさ いのち燃えて
たゆみなき 日頃のはげみ
自治ぞしるし われらが理想

三、世の末の 濁りに染まず

ひとすじに 真理を深ね
よろこびの道 ふみ行かん
いざ行かん 友よ こぞり
愛と知の 花咲く郷里に
築け 高く われらが榮を

甲



瑞